

発行所 全日本建設交運一般労働組合  
栃木県本部 〒327-0315  
栃木県佐野市吉水駅前1-2-1  
Tel 0283-62-7312 fax 0283-62-7318  
www.kenkourou.or.jp/  
E-mail:DQJ06744@nifty.com

# CTGの建交労とちぎ

## 残土処分に対する国の規制で元請（発生者）責任の明確化を

7月3日静岡県熱海市で発生した大規模土石流災害によって、建設発生土に対する関心が高まっています。組合では毎年国土交通省、自治体などに対して、運搬する労働者の立場から問題提起し、このような崩落事故の危険も含めて警鐘を鳴らしてきました。

昨年8月には、全国調査を初めて実施する総務省担当者らと面談し、現場の実態を報告しました。

今回の災害は私たちが危惧していたことが、様々な悪条件が重なったことよって最も不幸な形で起こりました。



熱海土石流災害。死者19名行方不明者9名に(7/21現在)

【残土をめぐる背景】  
工事現場内で処理できず有効利用もできない残土は、ダンプによって残土処分場に運ばれます。近年残土運搬を行う組合員の多くが処分場不足により遠距離運行等負担を強いられています。

各地で起こる不適切処分によって関東では多くの自治体が条例を制定し規制を強化しています。その結果処分代が高騰、一部では熱海市災害現場のような不適切処分が行われるようになりまし。

建設発生土に対するゼネコン業界の姿勢が問われています。

建設業界は慢性的な人手不足です。労賃を叩けば人が集まりません。元請ゼネコンにとつて最も叩きやすく利益を確保できるのが残土処分費です。

熱海災害のマスコミ報道に欠けている視点はここです。

【元請は適正な残土処分管理を】  
公共工事では指定処分が進んでいます。徹底されています。民間での工事間利用のシステムも参加数は一部にとどまっています。

首都圏では、工事現場から処分場に直送せず、近郊にある中間ストック場に一時堆積し、そこから別のダンプが処分場に運搬するケースが増えています。

このような実態を踏まえて、組合では国に対して産廃同様に残土発生者（元請建設業者）の責任を明確にする法制化を求めています。

これは元請ゼネコン業界に適正な処分コストを負担させ、運搬に従事するダンプ労働者の労働条件の確保にもつながります。

【労働組合の社会的責任に向き合うとき】  
熱海市で発生した災害では多くの尊い命が奪われました。

私たちは関係する労働組合として、もつと以前から運動を強め問題を世論化する必要があります。

現在リニア中央新幹線工事が強行されています。品川・名古屋間で残土約5680万m<sup>3</sup>が発生し、その8割の利用処分が決まっています。このまま事業とが求められています。

八王子市など、私たちが確認した場所とはまったく違う場所です。

☆ ☆ ☆  
国は建設発生土の不適切処分を防止するために「指定処分」の徹底に取り組んでいるはずですが、無責任な発注者によってつくられた競技場で、無責任な政治家による東京五輪が行われています。

### 新国立競技場建設 国は残土把握せず？

多くの国民が反対するなかで東京五輪が開催されました。組合では、メイン会場である新国立競技場の建設工事に従事するダンプの労働条件確保を求めました。

この取り組みのなかで驚くべきことが発覚しました。

組合では昨年10月、発注者である独立行政法人日本スポーツ振興センターに対して、工事で発生した残土の処分場所がわかる文書や情報公開制度に基づき開示請求しました。

ところが、発注者は「建設残土の処分場所が網羅された資料はありませんでした」と信じがたい回答を行い、わずか8台分の「残土搬出追跡調査検査記録」だけを開示しました。

発生した残土は5万m<sup>3</sup>以上と言われている。1550億円もの

新国立競技場工事



関東ダンプでは解体工事段階から現場調査を行ってきました。

◎感染者急増医療体制ひっ迫、頼みのワクチン接種も遅れているなかで、東京五輪が強行されました。五輪による感染拡大は明らかです。「五輪やめて命守れ」の声を上げ続けたいと思います。

# 突然倒木が車体に 県の管理責任を追及

組合員羽山建材さんのダンブが佐野市内の県道を走行中、突然道路左斜面から倒れてきた枯木がダンブキャビン屋根を直撃し破損する事故が起きました。組合では現場検証を行いました。



一目で危険な状態とわかる根腐れした倒木



ここでは避けようがありません

現場は桐生市梅田ダム方面から佐野市飛駒町にぬける山林の中を通る県道です。倒木は樹高10メートル以上ある大木で完全に枯れており根腐れ状態で根っこから折れていました。グーグルのストリートビューで事故前の状況を確認したところ、倒木は道路左側の法面に車線側に傾き生えていたことがわかりました。目視で枯木であることがわかる状態であり、このような危険物を放置していた道路管理者である県の責任は重大です。

ところが県では「倒木は道路敷地から50cm奥に生えていた。県内でこのような事例で賠償したケースはない」としませぬ。しかし、他県の判例では敷地外であっても道路管理者の責任を認めた事例はあります。今回幸いに人身被害はありませんでしたが、このような管理では安心して走れません。県の責任を追及します。

## 新しい生命保険の取り組み 組合員に合わせた商品提案を

組合ではあらたにSOMPOひまわり生命のライフカウンセラーと業務提携し、組合員一人一人の条件、希望に合わせた生命保険商品の提案ができるように検討しています。

年齢、家族構成、収入、健康状態等により必要な保障は様々です。現在の契約内容がよくわからないまま高額な保険料を支払い続けている人もいます。保険証券を持参していただければ、専門家による保険診断が受けられます。お問い合わせください。

SOMPOひまわり生命  
新・健康のお守りハート

<払込期間中無解約返戻金限定告知医療保険・手術I型>



## 健康診断会

◎日時  
9月19日(日)  
午前9時～

◎場所  
新吉水地区コミュニ  
ニティセンター

◎検査費用  
5000円

(家族、非組合員  
は6930円)

※検査項目増により

改訂されました。  
※組合の建設国保加入者は後日全額口座に戻ります。

希望者は申込時にご相談ください。  
◎申込み  
8月12日までに組合事務所に連絡を。

◎検査項目  
医師診察・血圧測定・尿検査(糖・蛋白)・計測(身長、腹囲、体重、視力)・聴力・胸部X線・血液検査(糖尿病、貧血、肝機能、脂質、血糖)・心電図。

◎感染対策

昨年同様感染防止のため、希望者多数の場合には人数制限を行います。当日は3密を避けグループ単位での受診とします。

## 佐野ラーメン放浪記[37]

### 来々軒

佐野市葛生東2-3-6  
しばらく休業します



佐野市葛生町は石灰石の産地として古くから栄えました。全国から鉱山関係者が集まりかつては映画館もあつたそうです。その葛生町で54年前から営業を続けるのが今回紹介する来々軒さんです。

店に入って驚いたのはその感染対策。店内を上からつるしたビニールシートで仕切り透明な個室のような状態、徹底しています。タンメンを頼みました。お店は気さくな高齢の女性が一人で頑張っています。恐る恐る年齢を聞くとなんと84歳！。29歳からお店をやっているそうです。とてもそんな年齢には見えません。ご主人も昔ダンブに乗っていたとか。野菜たっぷりのタンメンおいしかったです。夜は近所の人が飲みに来るそうです。



マスクは安倍前首相からいただいたそうです。



後日再び行くと「しばらく休業します」と貼り紙がしてあり閉まっていた。心配です。ぜひ再開してほしい。

